

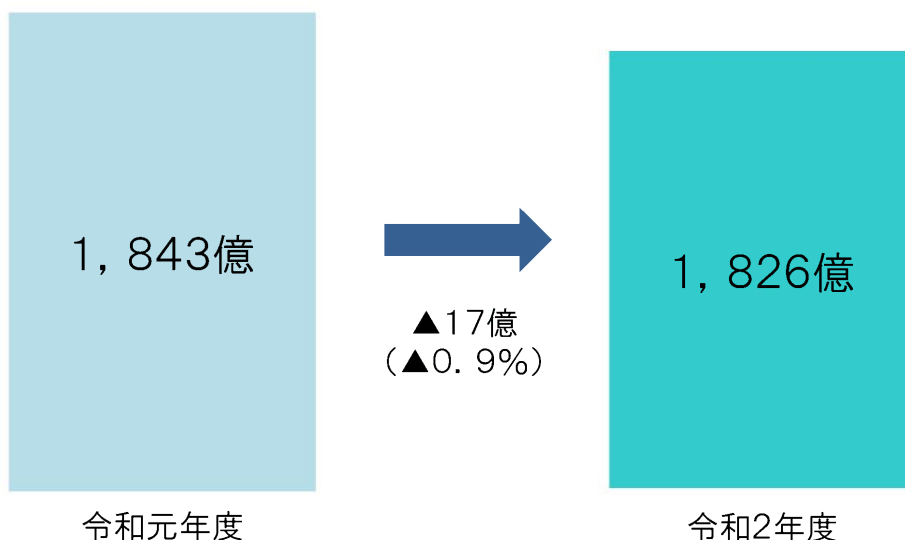
令和2年度 当初予算の概要

1



一般会計当初予算の総額

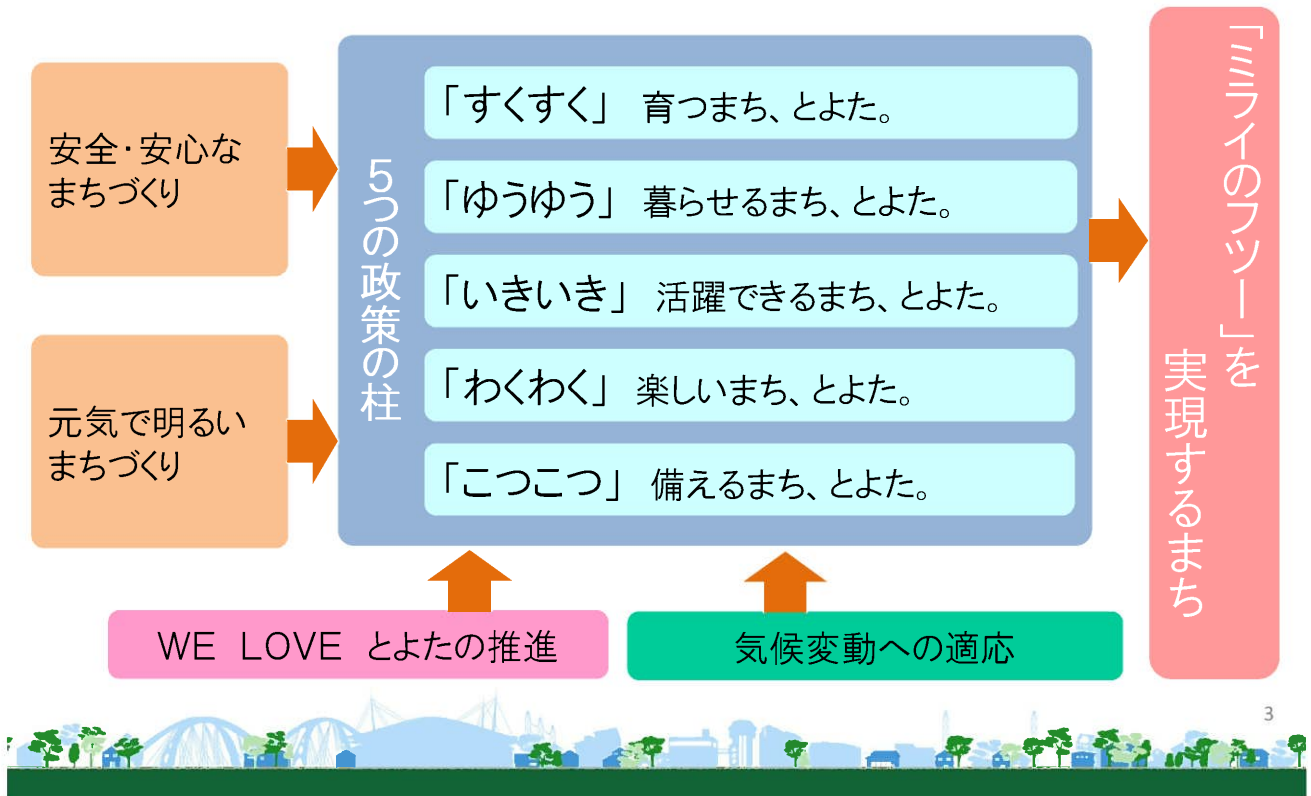
一般会計1,826億円は過去3番目の規模
(これまでの過去最高は平成28年度の1,859億円)



2



令和2年度当初予算編成のポイント



「すくすく」育つまち、とよた。①

安心して出産・子育てできる環境づくりの推進



◆子育て家庭への支援（1,141万円）

産前産後の子育て家庭に対し、家事育児を支援するヘルパー派遣を実施。多胎児妊産婦への支援として、子育てのポイント等を案内する教室の開催や多胎児親の会の活動を支援
 1～3か月児のいる家庭には母子保健推進員が訪問し、母子観察、相談助言、情報提供を実施

◆ **拡充** 保育需要への対応と良好な保育環境の整備（2億4,059万円）

0～2歳児の受入枠を拡大するため、私立園の園舎新築に対する補助を実施。また、トイレ洋式化の推進など、保育環境の整備を実施

◆ **新規** こども園等における「おむつ回収」の実施(2,045万円)

保育現場の衛生環境の向上や保育師・保護者の負担軽減のため、おむつ回収を令和2年4月から開始

◆ 公立こども園へのICT導入(4,312万円)

公立こども園へのタブレット端末導入に向けた環境整備に関する設計を実施

「すくすく」育つまち、とよた。②



豊かな人間性を育む教育環境づくりの推進

◆ 拡充 新時代の学びを支えるICT環境の構築

(55億8,527万円 ※3月補正分48億4,000万円を含む)

高速大容量の校内通信ネットワークや児童生徒1人1台のタブレット端末等の整備を進め、ICT機器を積極的に活用できる学習環境を整備

※校内通信ネットワーク整備は令和2年度中に実施

※タブレット端末等の整備は令和5年度までに順次実施

◆ 拡充 複雑化・困難化する教育課題への対応(3億850万円)

スクールカウンセラーや心の相談員の増員のほか、相談員等への指導・助言を行うスーパーバイザーを配置し、相談支援体制を強化

◆ 拡充 子ども医療費の助成 (21億9,582万円)

中学生までの医療費無償化の継続に加え、地域活性化の大きな原動力になっている若者に対する「ミライへの投資」として、新たに高校生・大学生等の入院費の無償化を実施

5



「すくすく」育つまち、とよた。③



誰もが憩い、学び、楽しめる環境づくりの推進

◆ (仮)豊田市博物館の整備(3億9,416万円)

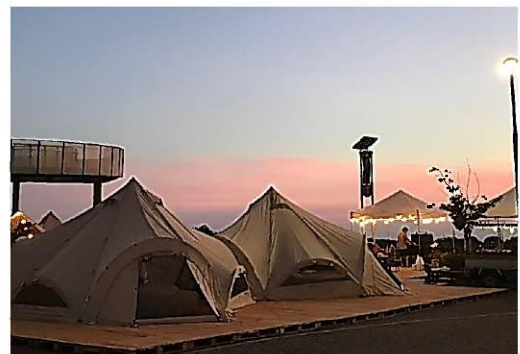
博物館の整備に向け、建物や外構、進入路等の設計等を実施。あわせて、旧豊田東高等学校の解体工事を実施

◆ 展覧会の開催(1億2,205万円)

【美術館】 (仮)ボイス+パレルモ展(令和2年10月17日～)、デザインあ展(令和3年1月16日～) など

【郷土資料館】 (仮)大渡邊家展(令和2年10月3日～)

【民芸館】 柳宗悦と古丹波(令和2年10月24日～)



<キャンプフィールド イメージ>

◆ 新規 鞍ヶ池公園へのキャンプフィールドの整備

(5億9,400万円【3月補正対応】)

鞍ヶ池公園に民間活力の導入を行い、新たな施設整備とサービス提供を実施。また、若草山・鞍ヶ池パーキングエリア園地周辺にキャンプフィールドを整備し、新たな魅力創出を実施

6



「ゆうゆう」暮らせるまち、とよた。①



住みたい、住み続けたいまちへの取組の推進

◆土地区画整理事業の推進(56億6,036万円)

住民ニーズの高い良好な住環境創出のため、現在事業中の6地区(土橋・寺部・花園・浄水・平戸橋・四郷駅周辺)等の事業を推進

◆ **新規** 三河豊田駅前地区優良建築物の整備支援 (8,280万円)

三河豊田駅前地区の土地利用の高度化を図るため、民間による高層住宅建設の事業計画作成に対する支援を実施



＜若林駅鉄道高架 イメージ＞

◆名鉄三河線若林駅付近の高架化の推進 (17億2,362万円)

若林駅付近約2.3kmの鉄道の高架化に向けて、仮線路に切り替えるための準備工事などを実施

◆鉄道駅へのアクセス性や利便性の向上を図る道路整備 (6,463万円)

西岡吉原線を始め、駅への主要なアクセス道路の整備を推進



「ゆうゆう」暮らせるまち、とよた。②



力強い産業(農林・工・商)都市づくりの推進

◆鳥獣害対策の推進(1億1,172万円)

有害鳥獣駆除の通年実施やICT活用、集落診断に基づく集落獣害対策向上事業の実施等により、農作物の被害削減を推進

◆ **新規** テナント店舗等木質化モデル創出事業補助(250万円)

地域材の利用促進・認知度向上を図るため、テナント店舗等が地域材を活用して内装や外装、家具等を木質化する費用への補助制度を新設

◆花本産業団地の拡張(3億3,234万円)

花本産業団地の南側隣接地を拡張し、新たな産業用地を整備(令和2年度の工事完了、入居企業の募集開始予定)

◆高速道路インターチェンジ周辺の産業用地の創出(8,148万円)

高速道路インターチェンジ周辺における新たな産業用地の事業化に向けて、インフラ施設の予備設計等を実施

◆ **拡充** ものづくり創造拠点の運営・次世代産業の育成支援(1億2,038万円)

「ものづくり創造拠点SENTAN」において、ものづくり企業による新たな事業展開やイノベーション創出を支援。また、「空飛ぶクルマ」をはじめとした次世代産業の育成に向け、環境を整備



「ゆうゆう」暮らせるまち、とよた。③

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



力強い産業(農林・工・商)都市づくりの推進

◆道路ネットワークの強化(31億8,442万円)

- ・効率的な企業活動を支え、交通の円滑化を図る都市基盤・環境の整備
(高橋細谷線、豊田刈谷線、豊栄河合線、豊田南・北バイパス関連市道)
- ・国道301号及び国道419号関連市道の整備

◆(仮)上郷スマートインターチェンジの整備(11億7,250万円)

既存高速道路を有効活用し、産業活動を支援する(仮)上郷スマートインターチェンジの整備を推進(令和2年度末に整備完了予定)

◆ **拡充** 建設業分野の業界活性化や人材育成に対する支援(532万円)

豊田商工会議所建設業部会と市との共働による経営研究会を通じた業界活性化に加え、建設業の人材育成を支援するため、豊田高等職業訓練校の授業料等への支援を開始

◆商店街等の魅力創出支援(2,997万円)

地域商業の活性化のため、商店街等の人材育成や地域の不足業種に対応した出店者の創業費用への支援を実施

9



「ゆうゆう」暮らせるまち、とよた。④

8 働きがいも経済成長も



誰もが活躍できる働き方改革の推進

◆ **拡充** 中高年齢者の雇用促進(560万円)

新たに独自求人の開拓やセミナーの開催、相談機能の強化を実施

◆ **拡充** 外国人のキャリア支援(334万円)

定住外国人を対象とした日本語教室において初級コースを増設し、外国人に対する就労支援を拡充

◆女性の「働く」支援(5,092万円)

女性の「働く」を総合的に支援する「女性しごとテラス“カブチーノ”」において、セミナー等の開催回数や内容の拡充、職場見学やインターン事業の強化等を実施



<外国人向け就労支援セミナーの様子>

10





「いきいき」活躍できるまち、とよた。①

3 すべての人に
健康と福祉を



生きがいづくり、健康づくりの推進

◆ 新規 ボランティアの活躍支援(700万円)

市民活動団体等の課題解決を支援するため、団体と専門的な知識・技術をもつ社会人ボランティア(プロボノ)をマッチングさせる「プロボノプロジェクト」を実施。また、誰もが気軽に市民活動を体験できる機会として「市民活動体験プログラム」を実施。さらに、これらに参加した人や団体が、つながりを深めるための交流の機会を創出

◆ 地域主体の健康づくりの支援(440万円)

中学校区ごとの健康関連データをまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進。また、地域の健康づくり活動の推進母体となる地区コミュニティ会議(健康づくり部会等)への補助を実施

◆ 基幹バス・地域バスの運行(10億399万円)

12路線の基幹バス、12の地域バスを運行するほか、3地域で地域タクシーを運行し、市民の移動手段を確保。また、高齢者が車を使わなくても安心して外出できる環境づくりのため、高齢者向けバス割引制度を導入

11



「いきいき」活躍できるまち、とよた。②

3 すべての人に
健康と福祉を



住み慣れた地域での安心な暮らしを支援する取組の推進

◆ 拡充 福祉の相談窓口の運営(2億944万円)

あらゆる世代・対象に対応する福祉の相談窓口機能を旧市内の5支所に整備し、個別支援と支え合いの地域づくりを全市的に推進。あわせて、タブレット等のICT環境を整備し、支所と本庁の連携を強化することで窓口対応の質を向上

◆ 豊田地域医療センター再整備(74億6,040万円)

高齢化に伴う疾病構造の変化や建物の老朽化に対応するため、病床数増等の機能向上を含めた施設の再整備を実施

◆ 在宅療養の推進(4,533万円)

訪問看護人材の確保・育成のため、豊田訪問看護師育成センターの運営に対して負担金を支出。また、ロボットなどの先進技術を活用した地域リハビリテーションを産学官連携で展開



<先進技術を活用した地域リハビリテーション>

12





「いきいき」活躍できるまち、とよた。③

3 すべての人に
健康と福祉を



住み慣れた地域での安心な暮らしを支援する取組の推進

◆障がい者グループホームの整備(1億511万円)

障がい者の居住の場の確保と、地域生活を支援するため、民間事業者のグループホーム建設費や運営費等に対する補助を実施

◆**拡充** 寿楽荘の施設整備(1,880万円)

利用者の利便性の向上と多様なニーズに対応するため、バリアフリー化の推進や要介護者向け入浴施設の設計を実施

◆**拡充** ふれあい収集の拡大(484万円)

ごみの戸別収集「ふれあい収集」を拡充し、ごみ出しに困っている高齢者や障がい者を支援

13



「いきいき」活躍できるまち、とよた。④

11 住み続けられる
まちづくりを



多様性を認め合い、生かすまちづくりの推進

◆**新規** 外国人幼児向け日本語教室の開催(330万円)

小学校入学前において、日本語に慣れ親しんでもらうための教室を新設

◆**拡充** 窓口における多言語対応の拡充(578万円)

自動音声翻訳機やタブレット端末によるテレビ通訳サービスに加え、電話通訳サービスを導入し、多言語対応を拡充

◆認知症・若年性認知症への支援(3,590万円)

GPS検索機器の利用促進、認知症初期集中支援チームによる支援のほか、認知症の人の「はたらく」場所の確保を始めとした社会参加の機会を創出

14

「わくわく」楽しいまち、とよた。①

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



訪れたい魅力あるまちへの取組の推進

◆ 拡充 ラリーを生かしたまちづくりの推進

(4,600万円)

クルマのまちとして、自動車文化の醸成と産業の振興を図るため、ラリーの開催支援と地域振興につながるイベントを実施

<地方ラリー選手権日程>

○稲武地区 10月3日、4日(予定)

<世界ラリー選手権日程>

○11月19日～11月22日(予定)

<トヨタガズーレーシングラリーチャレンジ>

○11月14日、15日(予定)



◆ 新規 2020年豊田国際紙フォーラム

(4,500万円)

令和2年9月から11月にかけて「豊田国際紙フォーラム」を開催。各地で作品展示やシンポジウム等を実施し、小原和紙の魅力を広く発信

15

「わくわく」楽しいまち、とよた。②

11 住み続けられるまちづくりを



訪れたい魅力あるまちへの取組の推進

◆ 観光プロモーション等の推進 (1億1,300万円)

国内外からの誘客促進を図るため、(一社)ツーリズムとよたが行う戦略的なプロモーション、地域資源の魅力を発信する観光商品の開発等の経費に対して補助を実施

◆ 都心環境計画に基づく公共空間の再整備

(1億5,228万円)

都心環境計画に基づき、市民・来街者等に魅力的な都心施設の再整備に向けて、令和2年度は豊田市駅周辺の公共空間再整備に関する検討や設計などを実施



16

「わくわく」楽しいまち、とよた。③

 9 産業と技術革新の
 基盤をつくらう


人と環境の融合。「ミライのフツー」の推進

◆ 新規 (仮)SDGs 国際会議の開催(1,100万円)

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた本市の取組を国内外にPRし、一層の展開を図るため、関係機関等と連携し、国際会議を開催

◆ 豊田市つながる社会実証推進協議会の取組加速化

(500万円)

「未来都市とよたビジョン(H30策定)」が目指す豊かな暮らしの実現に向けて、ビジョン達成に向けた取組の検討や企業参画を促進



MaaS



◆ 拡充 MaaS-Cityとよたの推進

(1,019万円)

将来のMaaS社会の実現に向け、産官学連携により、課題調査や実証実験を実施

17

「わくわく」楽しいまち、とよた。④

 17 パートナーシップで
 目標を達成しよう


「WE LOVE とよた」の推進

◆ 新規 東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントの開催

(1億2,526万円)

4月7日に行われる聖火リレーとその到着を祝うセレブレーションイベントを実施。また、豊田市ゆかりの「わがまちアスリート」をみんなで応援する「東京2020大会コミュニティライブサイト」を開催し、スポーツの感動や興奮を共有する場を創出

◆ 新規 映画を生かしたまちづくりの推進(3,000万円)

本市を舞台にラリーや定住促進をテーマにした映画製作へ出資し、映画文化の醸成、本市の魅力発信を推進

◆ WE LOVE とよたの推進(1,032万円)

「WE LOVE とよたフェスタ」の開催など、本市の魅力の再発見・発信・連携につながる取組を推進



18

「こつこつ」備えるまち、とよた。①



震災や風水害に備える防災・減災対策の推進

◆国土強靱化地域計画の策定・災害対策推進計画の見直し(784万円)

台風被害をはじめとした多様な被害発生予測を踏まえ、新たに国土強靱化地域計画を策定するとともに、災害対策推進計画を見直し

◆ **新規** マイタイムラインの作成支援(459万円)

災害時において一人ひとりの適切な避難行動につなげるための防災行動計画である「マイタイムライン」の作成を支援し、地域の防災力向上を推進

◆ **拡充** 災害時の電力確保(1,813万円)

災害時の停電対策として、PHVの外部給電設備から避難所に直接給電するための整備を行うほか、外部給電機能を持たないHVから電源を供給できるよう、後付けの外部給電設備の整備を実施



<PHV外部給電>

19

「こつこつ」備えるまち、とよた。②



震災や風水害に備える防災・減災対策の推進

◆道路・橋りょう・河川の防災対策(15億9,398万円)

地震や大雨等の災害に備え、公共インフラの対策工事等を実施

- ・道路のり面の危険箇所の点検、監視、対策工事
- ・平成記念橋を始めとした橋りょうの耐震対策工事
- ・長田川の改修を始めとした河川の対策工事
- ・矢作川改修事業への支援



◆ **拡充** 上下水道施設の災害対策の推進(13億8,730万円)

管路や施設の耐震化、施設の停電対策に加え、既設の災害拠点給水施設の改修を行うほか、飲料用循環式耐震性貯水槽を新たに設置

20

「こつこつ」備えるまち、とよた。③

 17 パートナーシップで
 目標を達成しよう


未然に防ぐ。交通安全・防犯対策の推進

◆後付け安全運転支援装置への補助(8,640万円)

高齢ドライバーの増加を踏まえた対策を充実するため、「後付け安全運転支援装置」の設置費を補助

◆歩行者保護モデルカー活動の推進(353万円)

「車優先から歩行者優先」へとドライバーの意識を変えるため、「歩行者保護モデルカー活動」を引き続き実施。また、横断歩道の直前で、一時停止したドライバーに対して歩行者が感謝の気持ちを伝える「とまってくれてありがとう運動」を併せて展開

◆事故防止対策(1億6,220万円)

事故防止の推進のため、地域要望や事故データ等に基づき、区画線や防護柵などの交通安全施設の整備等を推進

◆防犯カメラの設置促進(1,500万円)

地域ぐるみの防犯体制を強化するため、自治区や自主防犯活動団体に対する防犯カメラ設置費の補助を実施。なお、新規設置に限らず、更新や移設を補助対象に追加

◆自主防犯活動への支援(311万円)

研修会の開催、活動物品や啓発品の提供など、自主防犯活動団体の活動を支援

21



「こつこつ」備えるまち、とよた。④

 11 住み続けられる
 まちづくりを


地域資源を効果的に活用した地域経営の推進

◆公共施設等総合管理計画の改定(782万円)

各公共施設の個別施設計画を基に、今後必要となる維持管理費等の平準化を図り、公共施設等総合管理計画を改定

◆**拡充** 新技術(AI・RPA・IoT等)の活用推進(2,670万円)

市民サービスの向上や業務効率化に向けて、AIチャットボット※による行政サービス案内や、書類の自動データ化機能(AI-OCR)の導入を図るほか、行政サービスの更なる効率化・質の向上に向けた「(仮)情報化推進計画」を策定

※AIチャットボット: AI(人工知能)を活用し、問合せに対して会話形式で自動応答するプログラム

22



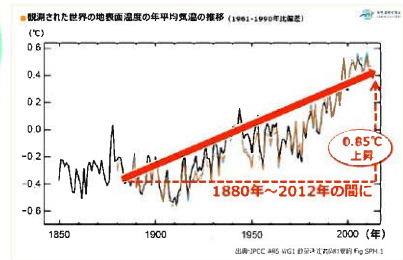
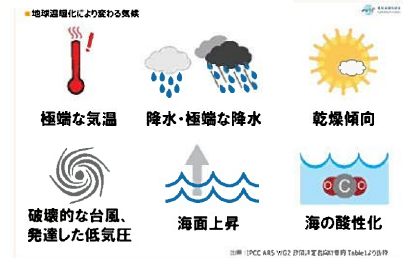
気候変動への適応



気候変動影響の被害の防止・軽減、自然環境の保護、社会経済の健全な発展等を図り、安全・安心で持続可能なまちを目指す



<地球規模での影響>



23

気候変動への適応 取組事例①

自然災害

◆ハザードマップの更新(3,120万円)

河川氾濫や土砂災害の情報などを掲載したハザードマップを更新

◆河川改修(8億6,392万円)

長田川、大見川等の改修事業の推進、矢作川改修事業への支援

健康

◆熱中症対策(676万円)

ポスター掲示やリーフレット配布による啓発の実施。スポーツ施設では、暑さ指数(WBGT)を活用した注意喚起などのソフト対策を中心に取り組むほか、状況に応じて日差し対策等を実施

◆感染症対策(1,615万円)

感染症の予防・まん延を防ぐため、発生動向の調査、拡大防止用品の備蓄等を実施

市民生活

◆住宅用エコ窓設置費等補助金(180万円)

空調効率を高める高断熱窓の設置費用の一部を補助

◆都心緑化の推進(3,284万円)

都心のポケットパーク等の緑化や、民有地の緑化に対する補助を実施

24

気候変動への適応 取組事例②

農林水産

- ◆**間伐の促進**(1億1,422万円)
間伐を促進し、水源かん養や土砂流出抑止など森林の公益的機能を強化
- ◆**農業用施設の防災対策**(1億9,289万円)
大雨等から農業用地を守るため、農業用ため池、水路、排水機場の整備・改修を実施

水環境 水資源

- ◆**河川水質、地下水、事業場排水等の調査**(2,342万円)
環境の保全を図るため、河川、地下水、事業場排水等の調査を実施
- ◆**水道水源のモニタリング調査**(1,051万円)
水源地域の保全のため、水量や土砂流出等のモニタリング調査を実施

自然 生態系

- ◆**湿地サミットの開催**(336万円)
湿地自然保護のあり方を検討するサミットを本市で開催(令和2年10月予定)
- ◆**動植物の生息調査**(479万円)
地域固有の希少な動植物(カタクリ、ヘイケボタル等)の生息・生育状況を調査

25

気候変動への適応 取組事例③

産業 経済活動

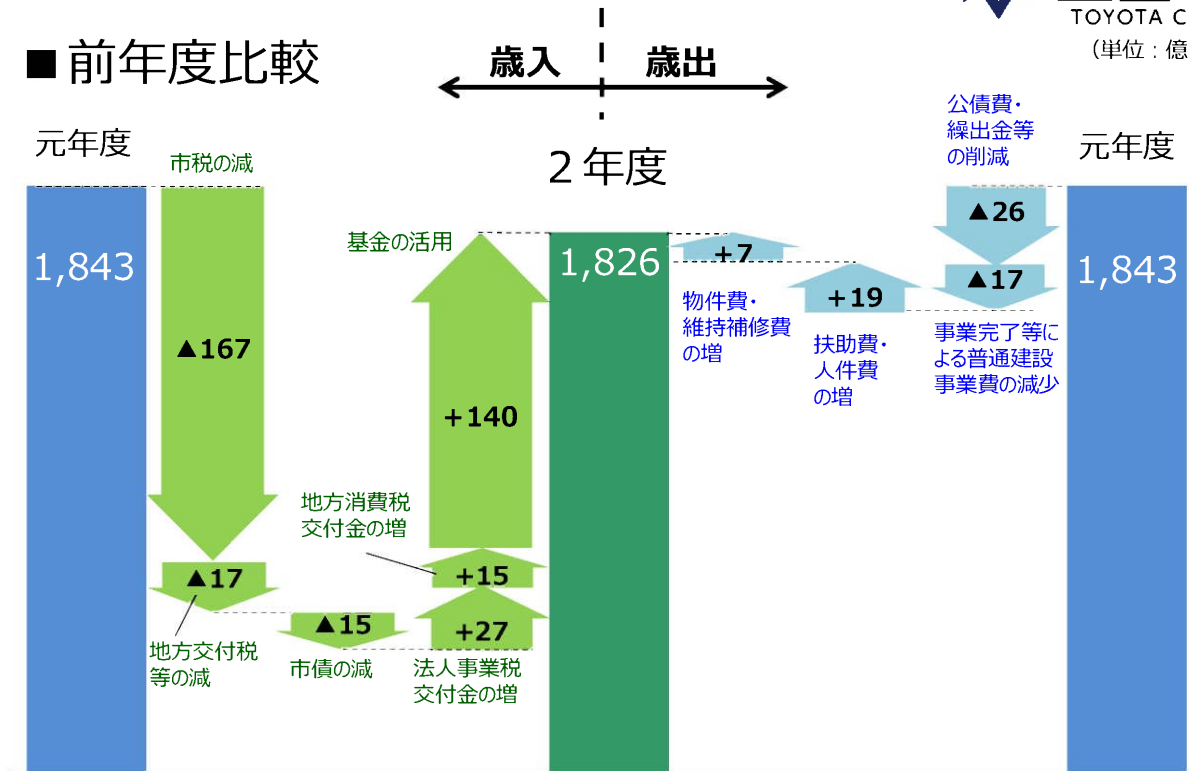
- ◆**豊田市つながる社会実証推進協議会**(500万円)
「未来都市とよたビジョン(H30)」の実現に向けて、企業参画の促進、取組事項の検討を推進
- ◆**新製品開発・スタートアップへの支援**(2,500万円)
新製品・新技術等開発補助金を拡充し、新たな価値の創造や新産業創出に取り組む新興企業(スタートアップ)に必要な経費を補助

基幹的 取組

- ◆**気候変動への適応に関する調査**(1,000万円)
気候変動が本市の自然環境、市民生活、農林業等にもたらす影響を総合的に調査。その適応策の検討を実施

26

■ 前年度比較



27

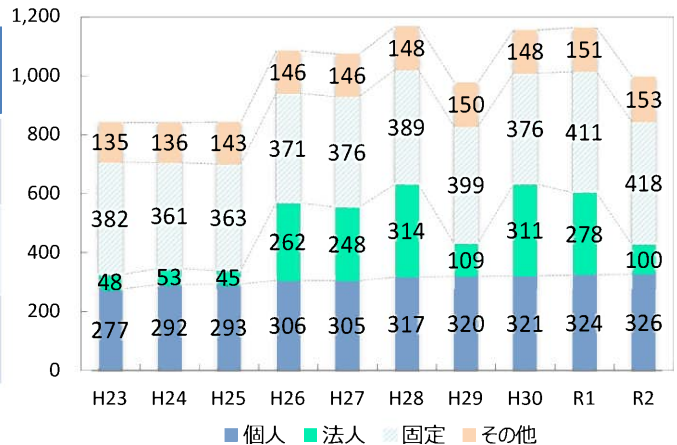
■ 歳入の特徴<市税>

- ・市税997億円、対前年度167億円の減、3年ぶりに1,000億円を下回る
- ・法人市民税は大幅な減
- ・個人市民税、固定資産税は増加。固定資産税は過去最高

【主な市税の対前年度比較】 (単位：億円)

	2年度	元年度	増減
個人市民税	326	324	+2
法人市民税	100	278	▲178
固定資産税	418	411	+7

【市税当初予算額の推移】 (単位：億円)

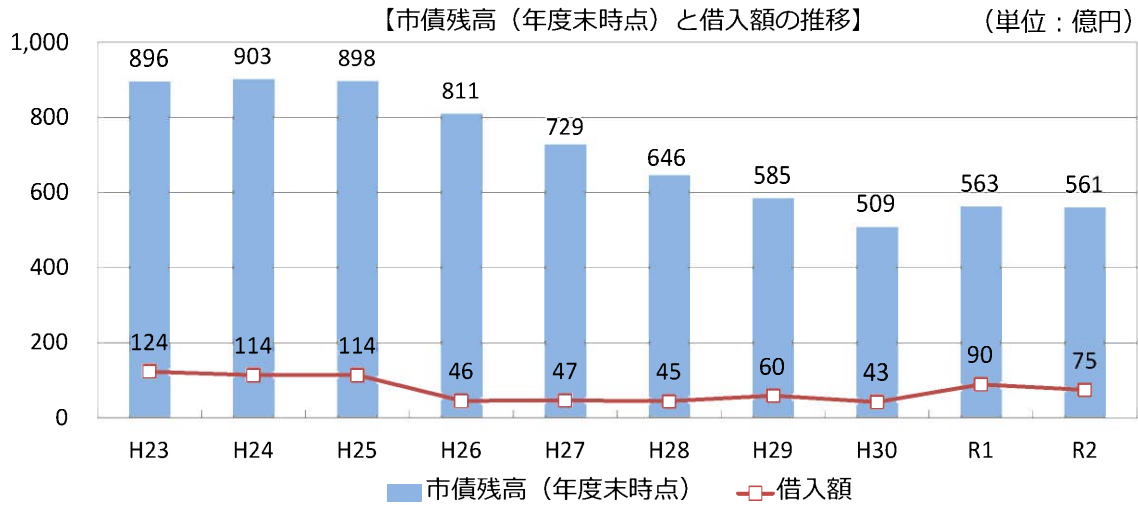


市税予算	842	842	844	1,085	1,075	1,168	978	1,156	1,164	997
------	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-----

28

■ 歳入の特徴 < 市債 (借入金) > 75 億円

- ・ 将来の成長につながる投資的事業を進めるために活用
- ・ 借入額は元金償還額を超えない額



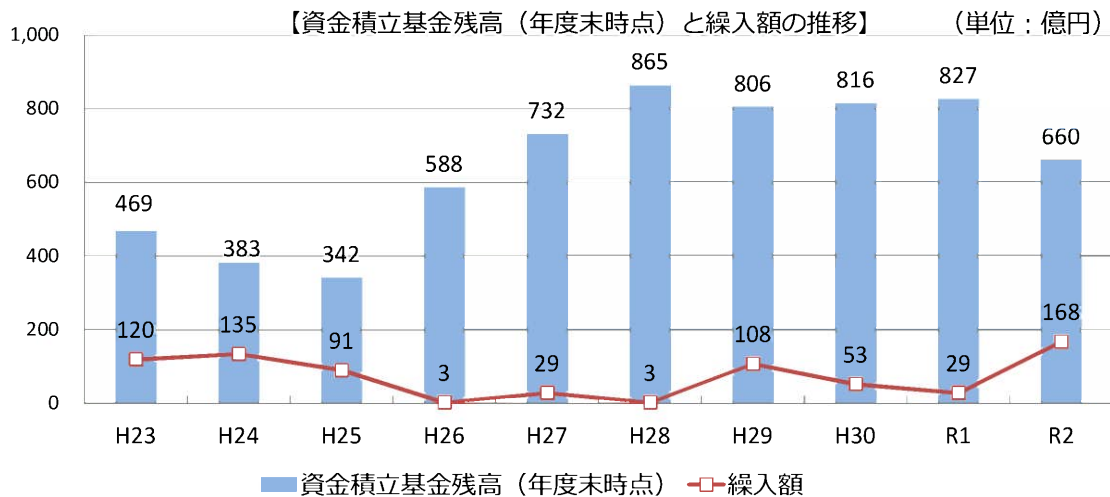
元金償還額	99	107	119	133	129	128	121	119	94	77
-------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

※H23～H30は決算額、R1及びR2の借入額は当初予算額、R1市債残高には繰越分、補正予算分を含む

29

■ 歳入の特徴 < 基金 (繰入金) > 168 億円

- ・ これまで積み立ててきた特定目的基金を計画的な施設整備に活用 91 億円
(医療センター再整備、幹線道路整備、教育施設整備など)
- ・ 急激な市税収入の減額に対応するため、財政調整基金を活用 77 億円



積立額	96	49	50	249	173	136	49	63	40	1
-----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	---

※H23～H30は決算額、R1及びR2は見込み額

30

■ 歳出の特徴〈義務的経費〉

- ・ 人件費は、会計年度任用職員制度の導入により増
- ・ 扶助費は、私立認定こども園の増加、保育無償化の影響により増
- ・ 公債費は、大型事業等の市債の償還が終了することによる減

(単位：億円)

区分	2年度	元年度	増減額	主な増減理由
人件費	329	319	+10	会計年度任用職員導入 +6.5億
扶助費	330	321	+9	教育・保育給付費 +3.9億 子育て支援施設等利用給付費 +3.8億
公債費	79	97	▲18	元金 ▲17.4億 利子 ▲0.5億
計	738	737	+1	

31

■ 歳出の特徴〈その他経費〉

(単位：億円)

区分	2年度	元年度	増減額	主な増減理由
物件費	347	342	+5	北部給食センター管理運営費 +4.4億 副読本・教師用教科書等購入費 +2.1億
維持補修費	33	31	+2	歩行者専用道等維持管理費 +0.7億
補助費等	210	212	▲2	ラグビーワールドカップ2019開催推進費 ▲5.1億 私立認定こども園振興費 +3.6億
普通建設事業費	381	398	▲17	豊田地域医療センター再整備費 +44.4億 北部給食センター建設費 ▲25.0億 内環状線建設費 ▲12.9億 土地区画整理事業 ▲17.6億
繰出金	100	101	▲1	
その他	17	22	▲5	
計	1,088	1,106	▲18	

32

■ 歳出の特徴 <普通建設事業費>

- ・将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進

2年度当初予算（381億）+国の大型補正による3月補正予算（37億：2年度に繰越）= **418億円**

「すくすく」育つまち		※（ ）内は前年度比較
・朝日丘中学校校舎建設事業	16.1億円	（ +5.2億）
・（仮）豊田市博物館建設事業	3.8億円	（ +2.0億）
・小・中・特別支援学校無線LAN再整備事業	23.5億円	（3月補正）
・小中学校保全改修・バリアフリー化事業	7.2億円	（3月補正）
・鞍ヶ池公園キャンプフィールド等施設整備事業	5.7億円	（3月補正）
「ゆうゆう」暮らせるまち		
・土地区画整理事業（土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺）	32.0億円	（▲17.6億）
・名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	17.2億円	（+14.3億）
・（仮）上郷スマートインターチェンジ整備事業	11.7億円	（ +6.9億）
「いきいき」活躍できるまち		
・豊田地域医療センター再整備事業	74.6億円	（+44.4億）
・（仮）松平地域体育館建設事業	15.9億円	（+13.3億）
「わくわく」楽しいまち		
・南庁舎空調・照明改修事業	9.8億円	（ +9.7億）
「こつこつ」備えるまち		
・長田川改修事業	4.1億円	（ +3.8億）

33

■ 更なる歳入確保、事業・事務の最適化等の推進

● 積極的な歳入確保の取組 29.5億円

※令和元年度3月補正（25.1億円）を含む

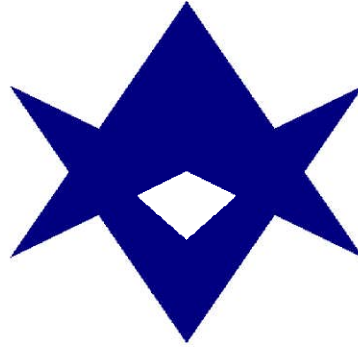
- 国県補助金等の積極的な確保
- 市有財産の売却・貸付等の推進
- ふるさと寄附金の積極的な確保
- 広告事業の推進

● 事業・事務の最適化等の推進 ▲11.3億円

- 職員研修科目の見直し
- 消防職員被服の配布基準の見直し
- 補助金の見直し（住宅団地整備事業補助金等） など

34

施策別の事業内容は別冊「豊田市の予算」にて
御確認ください。



豊田市は、持続可能な開発目標を支援しています。